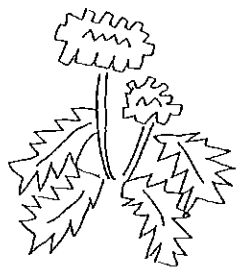


たんぼぼ

NO 86
 H6年8月1日
 -発行-
 〒869-12
 熊本県菊池郡
 大津町森54-2
 社会福祉法人
 三気の会
 三気の里
 ☎096-293-8100



「自閉症児に理解を」母の訴え
 情緒障害の一種、自閉症の小さい息子さんを持つ山口市の母親(39)には、どうしても忘れられないシーンがあります。つらい経験でした。
 その子が5歳のころ、自転車荷台に乗せ商店街に買い物に出ました。目を離したすきに「事件」は起きました。
 自転車のわきを歩く60歳ほどの背広の紳士の背中を、荷台の子がいきなりたたいたのです。と、今度は男性が子供の背中をパンパンとたたき返しました。
 1、2分離れたところにいた母親が慌てて「すみません」と謝ると同時に、「事件」はそれで終わりません。子供はまた男性の背中をたたき、男性はついに子供のお手を平手でひっぱたいたのです。「何もしないでたたくか」というセリフを残し、走り去りました。
 一瞬のことに、母親は黙って見ているしかありませんでした。「悪いのはこちらだけど、まず、親に文句を言ってくれても」。子供はキョトンとしていました。が、わが子を守れなかった心の痛み、涙をこぼしたのは母親のほうでした。人間関係を結べず、般に閉じこもるのが自閉症だというイメージがありますが、症状は児童によりさまざまです。うです。「でも、見た目に分からないため、普通の子のようにしか対応してもらえないのです」この子の場合、道路に寝っ転がって泣きわめいたりする「パニック」と呼ばれる行動をとることがたびたびあります。通りがかりの人は「薬を飲ませたら」「だだをこねず、家に帰って勉強を」とあれこれ声をかけてくれますが、その言葉に傷つくことが多くと言います。そして、そのたびに思い出すのがあの「事件」。「自閉症児がこうした行動をとることがあることを、少しでも理解してもらえれば」と、やり場のない悩みを電話で打ち明けてくれました。
 おいそれと妙案は見つかりそうにありません。ただ、自閉症児と知っていても知らなくても、相手の思いやりに裏付けられた言葉、態度ならば伝わると、母親は言っています。

読売新聞
 こちら社会部より

理事長 田中 稔

これは、最近の読売新聞に載ったものです。読んで見られてどう思われますか？

子供は何も考えずに、反射的に『たたく』という行為をしている

にすぎません。これを一般の人が

理解するという事はありません。障害のある子供の行為だから分かって許して欲しいという想いが母親にはあります。子供の頬をひっぱたかれた無念さが後々まで残って

分かれざるしかありません。言葉で指導できにくいので、型から入って

しまいました。

障害があっても、やってはいけない事はやってはいけないと分かって導けるしかありません。言葉で指導できにくいので、型から入って

分かれざるしかありません。



閉鎖社会である入所施設で『たたく』『たたかれる』という関係がパターン化すると悲惨なことになります。『たたく』方も何でたたかれるか分かっていません。反射的にたたく、蹴る、噛みつく等をしているだけです。『たたかれる』方も何でたたかれていくのかも分かりません。向かっていく方も知らず、たたかれた事を訴え、逃げ出す事も知りません。
 こういう事が理解されにくい事であるが由に、自閉症児者の社会への参加はますます困難になっていくのです。

 げん気 ○空梅雨に不作なしとか、お米の出来も秋を前にして豊作の兆し、またこの暑さは景気も押し上げていそうだ。たんぼぼ市場にも、とうもろこし・ピーマン・茄子が並びにぎわっている。
 ん気 ○三気の畑や敷地のあちらこちらでは、暑さにもめげず頑張っている園生が、職員が大粒の汗を流している。
 のん気 ○8度めの暑い夏がやってきた。夏祭り、夏期帰宅訓練、療育キャンプと目のまわる忙しさだ。もう少しのがまん、ファイト！
 ファイト！



1班 ネットタウン

プールで涼！

「のう、うっだすごつ、あつか」日が続きます。ネットタウンでは、この暑さに閉口しながら冷房設備のない、扇風機もない暑〜い作業棟で汗を拭き拭き、暑さと戦いながらネット作業を行っています。そこで、7月のレクリエーションは、プールで暑気払いをすることにしました。場所は白水村のB&G（いつもお世話になってます）脱衣場では皆お風呂感覚で服を脱いだら水着もつけずに行こうとしたりテンヤワンヤの着せ替えてしたが、プールに入るともう皆満面の笑み、水を得た魚の様に泳ぎ（？）まくりました。ゼンマイ仕掛けのおもちゃのように泳ぐ淳君、釣り針にひっかかった魚の様にバシバシと騒々しい憲ちゃん、アザラシの様に人の背中で悠々自適の聡ちゃん、水泳キャップを持って動かない達ちゃん、ビート板を持たされ嫌々泳がされる勝ちゃん、1人で泳ぐマーちゃん、山布子さん、絶対深い方へ行こうとしない博君、民さん、職員と戯れるさゆりちゃん、プールには入れなかったけどニコニコの幸江ちゃん、皆タツプリ涼を楽しめたかな？今度は海に行きたいネ。川邊

1班 バッキン諸島マリ島

イルカウオッチング？

水しぶきを上げて、口に含んだ水を噴き出し、とても気持ちよく泳いでいる。水族館ではない。白水村B&Gプールで泳ぐ1班総勢31名の雄姿である。

ここで初めて泳いでから何年になるだろうか、建物の中に入ろうとせず力一杯抵抗していた英ちゃんが浅いプールでつかっている。プールの水ばかり飲んでいた兒子ちゃんは、水に乗り、何往復も泳いでいる。始めは入らないと言っていた忠ちゃん、いつの間にか2枚のビート板を上手に操り、終わりになってもなかなか上がろうとしなかった、新入園生も増え、多勢のレクとなり、普段から賑やかな1班であるが、プールでは、人に迷惑をあまりかけないで（？）過ごせる様になったと思っている

最近、畑に水が欲しいと空を眺めていますなかなかありません。枝豆にピーナッツ、ああ・・・。ビールが・・・ たっぶりのにわか雨を待っています。私の喉にも一服の涼を！ 坂井

2班 夏だー！！海だー！！

夏と言えば海！！ですよね。2班は芦北の方へ海水浴に行ってきました。雲一つない晴天の中バスは浮き輪や日よけ等のたくさんの荷物を乗せて走り、海岸を通過してレストランに着きました。レストランではヒレカツ定食をおなかいっぱい食べると松下指導員のお父さんと妹さんが登場し（芦北は松下さんの故郷です）妹さんはカメラの電池を持って来て頂き、お父さんからはデザートのアイスクリームやスイカを頂きました。さあ、いよいよ海です。白砂海水浴場では、松田自動車から頂いた車のチューブの浮輪でぶかぶかと浮いたり、砂浜で日光浴をしたりスイカ割りをしたりしました。紅一点の昭子さんの水着姿かわいかったですよー。今回みんな海の深い方に1回は入りました。そこに松下さんのお母さんがいらしてお土産を頂きました。その後は、計石温泉に入り、休憩をし、田中さんからおやつやジュースを頂きました。松下指導員のファミリーが勢揃いして歓迎して下さり楽しい1日となりました。これからまだまだ暑いけれど暑さに負けないようにみんながんばろうね！！ 高橋

3班 - 農耕 “初ドライブ” のあとは - - -

3班（農耕グループ）は、この暑さにも負けず毎日の農作業に頑張っている慰労と、園外での宿泊を体験し楽しむことを目的に7月20日～22日の2泊3日で、鹿児島県の志布志町の国民宿舎に、宿泊レク初参加の守屋君、中原君、舞永君、中村こ君を含め園生11名と職員6名の総勢17名で行って来ました。当日は7:00AM出発。車中はニコニコ顔やなかなか着かない目的地に不安げな表情の人、余裕でウトウトする人と園生の表情もさまざまでしたが、ホテルに到着して入浴、夕食と時間が経つにつれて盛り上がり、夕食後はお決まりのカラオケ大会でした。2日目は午前中、遊園地へ行きました。ジェットコースターが乗れない人もいましたが、観覧車やその他のゆっくりした乗り物で楽しみました。午後は海水浴。魚のごとく楽しむ人や、ちょっとつかただけであとは浜辺で楽しむ人と自分たちなりの楽しみ方で遊んでいました。最終日はお土産を買って帰路に着きました。旅行中はおいしいものを食べ過ぎておなかは大丈夫だったかな？これからも作業を頑張って、又楽しいことをたくさんしようね。

木下

3班 - 園芸 潤いを求めて - - -

「明日こそはプールに行きたいな。」と中嶋君の悲嘆に暮れる声。今日は午前中作業を頑張ったらプールに行ける日でした。園芸班では全員で作業を頑張ったら午後から近くのプールに行くと言う目標を立てています。このようにして園芸班のチームプレイは日々培われています。

最近、連日の猛暑で、午後の作業の終わり頃になると、誰かが潤いを求めてバケツ片手に走りだします。あれだけ作業で動かなかった泰成君が、水が入れば畑の端っこまで追いかけたり、逃げ回ったりしています。職員も我を忘れて水かけに夢中になります。すると、富田さんや松島さんの冷やかな視線が飛び込んできます。さて、本業である園芸の方はというと、花壇の手入れとビニールハウスを新たに建設中です。水や私達の愛情を十分吸収して、綺麗な花を咲かせてくれる花たち。園芸班のみんなも松葉牡丹のように誰からも愛される美しい花になって貰いたいと思います。

園岡



療育シリーズ

慢性緊張(動作法から)

園長 土井尚典

腕上げ動作訓練をしていると、いつも耳押さえをしている園生は耳押さえをしている位置まで腕がくると、急に腕がスムーズに動かなくなったり、ひじが曲がったりする。腕を真つすぐ延ばして速めに動かさせるとあまり感じないのだがゆっくりと動かすと、この現象に気が付く。顔をたたくという自傷行為のある園生も同じである。ひじの曲がりをブロックすると顔が手の方に動いたりする。この部分を引っ掛かりがあると言ったり固いと言っている。この引っ掛かりや固さを取ると耳押さえや自傷が減少する。

腕を上げ下げする訓練であり、たんなる筋肉運動であるが思わぬ効果を生み出す。その原理は園生に腕を動かさせる時に指導者の意図通りに動かさせようとするとところにある。園生の腕は、園生の物である。にもかかわらずあるところまでくると機械的に自分の顔を叩くように動き出す。ここに「脳性マヒ児特有の定型を構成してい

る慢性緊張」と同じものがある。不自然な動きをする自分の腕を受け入れてしまっており、正しい動きをする腕を知らない訳である。

腕上げ動作訓練中に不自然な動きを指導者の手から「間違いだよ」と筋肉を通して伝え、正しい筋肉の動きを手を通して伝える。正しい筋肉の動きは、本人にとって不愉快な動きである。「不愉快」というのは心の働きである。筋肉の動きも心の働きも、実は脳の働きである。筋肉を動かすというのは心が動かさそうと思わなければ動かないものである。心と筋肉の脳は一体で働いているものである。

腕上げという動作の訓練の中に、筋肉を通したコミュニケーションがあり、それは心も一体となってコミュニケーションしているのである。さらに不愉快な動きを正しい動きに園生自身がしたがって行くことで、筋肉の自己コントロールと同時に心の自己コントロールも行われているのである。

動作訓練は「慢性緊張を自分の意図でゆるめて行くプロセスである」が自閉性障害者に応用した場合は「心の慢性緊張」を自分の意図でゆるめて行くプロセスである。

「今有る自分から望ましい自分になり、気が付いて行く」ことの援助でも有る。

定例研修会に参加して

平川聖子



去る4月27日、県総合福祉センターで、平成6年度の第1回定例研修会が行われました。この研修会は、施設職員の資質の向上を目的として年4回行われ、テーマ別に6グループに別れてテーマに沿った研究・実践をして行くというものです。私は、「重度者の問題行動の改善について」目で見て、行動レベルで考える」というテーマのグループに入り研修をするこたになりました。このグループへの参加は10施設、各施設の問題行動をレポートして持ち寄りでしたが、その実態やとらえ方はさまざま、今後いかに研修を進めて行くかを決めて行くのも困難なくらいでした。しかし、若い施設のなかで特に問題となっている自傷・他傷行為についての解決策を考えて行くという方向で今年1年間の

研修を進めて行くことになりました。テーマによる研修を進めていくことももちろんですが、いろいろな施設の先生方とお会いし、その生活の様子、経験談などを伺う事ができるのも嬉しい事です。これを機会に、いろいろと勉強させていただきます。と思います。

新入園生紹介

2班・剛(ごう)君

7月より入園しました剛君です。彼は以前お弁当屋さん勤めていた事もあり、とても器用に厨房の手伝いもしてくれる好青年です。人一倍汗っかきの剛君ですが、暑さに負けず元気に頑張ってください。

3班・功一君

今度、3班の農耕班に入りました。カセットを聴くのが大好きです。歌を歌うのも大好きで「四季の歌」、「いい日旅立ち」は、得意です。

三気の里で一生懸命、頑張るので、皆さんも仲良くして下さいね。



立目録

古田恵子

7月22日に7回目のレッスンを終えた音楽グループ。今回は、その中で取り組んでいるミュージック・ベル(ハンドベル)について報告したいと思います。

ミュージック・ベルなんて、見るのも触るのも初めてという私達が最初に取り組んだのは、ドボルザークの「新世界より」の中の「家路」で、ビギナーにはどうかかな?という大曲です。

ベルをする時の約束は、1. 指揮者をよく見る。2. 自分の番がきたら音を出す。3. 他の人のときは手を動かさずじっと待つ。なのですが、この一見なんでもなさそうな事が意外と難しく、始めは色々な音が入り混じり、途中で一体何の曲をやっているのか分からなくなる事も度々でした。

しかし、練習を重ねていく内に、少しずつでも着実にリズムや拍子の長さを体得していくみんなの音感の良さには、驚かされてばかりいます。

目標は三気の里でミニ・コンサートを聞くこと。夢は大きく!みんな楽しみながら頑張ろうね!!

スポーツ

高田一通

金曜日の午後から行われているスポーツも一カ月が過ぎました。サッカーと散歩に分かれ行っていますが、最初のころに比べると徐々に流れを掴めるようになって来ました。

しかし、この連日の猛暑の中、屋外でスポーツをするということに園生にとってこの上ない疲労を感じるのであるかと思ひ、途中の休憩を長めにとるよう心掛けています。

スポーツの内容としては、園生全員が運動場に集まった所でラジオ体操、その後軽く運動場をジョギング、そしてサッカーと散歩に分かれそれぞれの運動を始める訳ですが、今度、散歩だけでは物足りないという園生のために運動場の隅に丸太などで簡単なアスレチックを作ることにになり、専らそちらの方のお手伝いをしていくといった現状で、早く皆で使えるようにと運動場整備を主に頑張っています。この暑さで夏バテしないようにやっていきたいと思っています。

七夕

早々に梅雨も明けた7月7日、

きらめく星空の下、たなばたまつりをしました。一日の作業を終えた後、食堂に笹飾りを飾り、涼やかに、七夕そうめんをいただきました。皆はたんぎくに願い事を書いて飾りましたが今年は、「ひまわり」、「天の川」と美しい言葉や、健康を願うものが多かったようです。良い天気にも恵まれ、御機嫌な織り姫様、彦星様が、きっと皆の願いをかなえてくれることでしょう。

平川



ポランティア通信

毎日猛暑続きですがいかがが御過ごしでしょうか。さて今回三気の

里では8月5日に夏祭りをを行います。パーガーションショップやボーリングなど内容も盛りだくさんですの遊びにいらっしやいませんか?又、ボランティアも募集中です。話は変わって、近頃園では涼やかな顔をして颯爽としている園生が多いです。というのも毎月来られる散髪ボランティアの方々のお

かけでみんなさっぱりとした感じ

です。ところで先日お話しを聞く事が出来、「みんな大人しく散髪出来る様になったね。」と話しておられ、散髪し始めの苦勞話を伺うことが出来ました。散髪台に座っていられたかった園生が今ではジツと座っていられたようになり、髭剃りが全く出来なかったのが、今ではきちんと剃れる様になった等と話されている顔はとても嬉しそうでした。


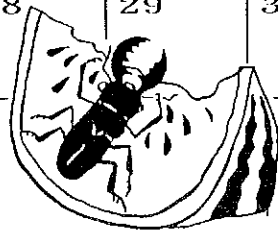

今月も来て下さり有り難うございました。有働

- ボランティアありがとう
- ☆散髪 坂本シマコ 源造マスマ
- ☆清掃 藤沢さん
- ☆ブラッシング指導 森隆子
- ☆生け花 西村栄子

食卓当番白菜中

去る七月二十日から三日間、農耕班の宿泊レクがあり、鹿児島(ダグリ岬)での海水浴に参加しました。行きがけには大雨で、不安と期待をともにいよいよ当日。日頃の行いが良いせいか、見事に晴れてみんな大はしゃぎでした。なか

8月の行事予定

日	月	火	水	木	金	土	備考
	1	2	3	4	5 祭り	6 岸田・保藤松 シーツ交換	
7 夏祭り練習(20日迄)	8	9	10 兄さんの誕生日(26)	11 椿くんの誕生日(18)	12	13	
14	15 防災訓練	16	17 悠土くんの誕生日(20)	18 ふわかいキャンプ	19	20 帰園日	
21	22	23	24	25 誕生会	26 たんぽぽ編集	27 シーツ交換 山美ちゃんの誕生日(27)	
28 	29	30	31	色 兄さん、一樹くん、悠土くん、山美ちゃん誕生日おめでとう! 📢 15日(月) 防災訓練 ※ 帰宅バスありません			

- 山室ミル 藤崎惠美 高田智賀子
- 牛島敏章 財賀彌至 中野美津子
- 吉岡誠治 鶴崎大介 緒方惠美子
- 大橋孝良 島津真一 小沼貴代子

「後援会」入会
ありがとうございます



でも守屋君と光紀君は特にうれしそうで、職員が泳いで追いつくのも必死でした。なにはともあれ、楽しく過ごせて食事豪華だったので、たまには厨房を離れてみるのも良いものだなあと思った私でした。

照りつく太陽とともに、本格的な夏がやって来ました。暑さにも負けないよう、食生活には特に気を配り元気に夏を過ごしましょう。皆さんは、毎日野菜を食べていますか。野菜は、体の調子を整えるための食品です。太陽の光を浴びて育った野菜は、ビタミンCも多く含まれています。例えば、トマト一個分のビタミンCと、りんご二個、バナナ二本、葡萄四房と同じなんです。夏には、夏の野菜を大いに食べましょう。村上

栄養の話
前田

岩崎一雄 佐藤青史 竹中精肉支店
岩崎和恵 林田純子 笠 盛中
前田修誠 大村健一 中村涼子
清藤節子 東嶋敏子 尾田正幸
保田周一 江尻 清 宮原富美子
高橋須慈 村井友春 魚谷ミサヲ
井芹嘉久 石井曉子 規工川元徳
木本博明 松田雄二 林田歌介
上村才司 富永 充 久保嘉四郎
松野健蔵 河野蝶子 才畑敏晴
吉永脩二 福田医院 向井隆一郎
山口悦子 岩上静子 野田商店
大津高校校長 西本昭介

川島末男 坂本 裕 渡辺よし子
窪 安代 岡崎文子 三小田美代子
塚本謙二 前田恭男 山口祐規子
松岡淳子 金子豊重 苗村梅香
堤耕一郎 勇 健三 梅田幸子
角田義綱 岩崎順子 松田敏子
福島敬祐 加藤勤子 坂梨賢司
赤坂政紀 小野耕三 大津あゆみ園
五島建男 小篠武明 濱本奈智子
みふねデコボコ会 小森好美

本多邦雄 紫藤忠博 久光正太郎
百崎末雄 山口 浩
(株) かぼしま



平成六年七月二十九日付け
※敬称略